

平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	三ツ井芳恵
		全体計画						経費区分		-		内線	245-0407
事務事業名	4313 博物館管理運営事業												
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費											
	事業	020000 博物館管理運営事業											
事業目的							事業概要・効果						
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。							資料の収集・保存及び調査研究を行うとともに、特別 展をはじめとする展示活動や各種講座・講演会などの 事業を推進し、市民の生涯学習の場とする。 また、全市をフィールドとした「どこでも博物館」の 活動を推進するため、博物館ボランティア会とともに 活動をすすめる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
特別展（吉向焼） 入館者数 954人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 907人 スポット展示「猿の根付展」 入館者数 643人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,042人 千支コレクションアワード2016猿への参加・投票 全国第1位	特別展（北村方義） 入館者数 782人 特集展（印籠・根付） 入館者数 980人 特集展（堀家の雛人形など） 入館者数 947人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 612人 NHK大河ドラマ関連スポット展示「上杉景勝書状」
平成29年度 予定	平成30年度 予定
特別展（須坂藩14代） 館外企画展示「須坂きのこ展」 八丁鎧塚まつり 博物館基本計画策定検討委員会	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	年間入館者数				
算式	年0.5%の増				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	5,714	5,742	5,771	5,800
	実績	4,073			5,829
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		13,540	14,006
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	690	579
一般財源		12,850	13,427
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	1.9	1.9
	臨時職員	0.3	0.3
人員コスト	正規職員	6,497.1	6,497.1
	嘱託職員	5,234.5	5,234.5
	臨時職員	342.9	342.9
	計	12,074.5	12,074.5
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,614.5	26,080.5

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	385	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	2,760	展示等消耗品費249、燃料費113、印刷製本費（ポスター2回、チラシ2回外）759、光熱水費794、修繕料49 外
13節 委託費	632	警備保障委託、製糸機械清掃委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	9,610	報酬5,420、共済費1,042、賃金1,498、旅費185、役務費876、使用料及び賃借料590、原材料費40

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	655	講演会・講座等講師謝礼、展示品借用・指導等謝礼
11節 需用費	3,089	特別展示等消耗品、ポスター・チラシ等印刷
13節 委託費	363	館内警備保障委託、製糸機械清掃委託、樹木伐採業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	9,746	報酬5,659、共済費1,074、賃金1,630、旅費206、役務費929、使用料及び賃借料193、原材料費55

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民が歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、常設展示をはじめとする展示活動及び講座活動を開催する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<p>特集展では田中本家博物館（須坂市穀町）が開催する特別展「高円宮家 コレクション根付 手のひらの小宇宙」と連携し「印籠・根付」の展示を行い、印籠・根付の魅力を広く紹介することができた。</p> <p>特別展では堀直虎没後150年祭プレ事業として、須坂市立博物館としては初めてとなる「北村方義」の展示を行い、須坂藩士・明治初期の教育者である北村方義の功績を顕彰するとともに、平成29年度の「堀直虎没後150年」についてPRすることができた。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	博物館ボランティア会の協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説などの収蔵品活用事業を展開している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の歴史・文化の概観を学ぶ拠点として、市民の歴史・文化学習に資するために特別展・講座等の開催を行い、情報発信に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>老朽化した博物館施設をどうするか検討する検討会を設け、併せて博物館のあり方についても検討していく。</p> <p>堀直虎没後150年を記念し、実行委員会とは別に学術的な観点から記念事業を行う。</p>		<p>移転については、検討委員会を設置し、専門家も含めた市民の意見を聞きながら、今後のビジョンも併せ検討していく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	